



◎本ニュースレターは、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

今年も応援団交流会「エコネットカフェ 2022」を開催しました！今回は、屋外の活動拠点とWEB参加者をオンラインで繋いで行いました。ご協力・ご参加された皆様ありがとうございました。参加できなかった方も、今号で雰囲気を感じてもらえたらと思います。

〔一宮市立起小学校、津屋川水系清水池、WEB会議〕

2023年1月22日(日)

エコネット応援団の交流会 エコネットカフェ2022を開催しました！

今年度のエコネットカフェは、令和5年1月22日に開催しました。応援団の皆さんが直接交流する機会として、平成30年度から年1回行われ、第5回となる今回は、氾濫原生態系ネットワークとして活動している一宮市立起小学校にあるピオトープ「ジャブジャブ池」と、湧水帯生態系ネットワークとして活動している津屋川水系清水池をWEBで現地中継し、意見交換会を実施しました。交流会当日は、事務局を含め48名の方にご参加いただきました。

第1部のWEB現地見学会では、愛知県立一宮高等学校によるジャブジャブ池に関する活動紹介、岐阜県立大垣東高等学校によるハリヨ調査の説明及び実演、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の動画を交えた活動紹介を行いました。

第2部では、応援団の皆さんからの活動発表として、一宮市立起小学校の吉川先生より地域環境学習の取り組みの発表、はりんこネットワーク様より、ハリヨ保全交流会の報告、事務局よりイタセンパラ・ハリヨ生息地の3D再現動画の上映を行いました。

全体交流では5つのグループに分かれ、普段の活動や今後の展望について話し合い、様々な意見が挙げられました。

各エリアに設けた屋外活動拠点とWEB参加者をオンラインでつなぎ、ライブ中継でフィールド紹介や調査の実演を行いました。



WEB会議▶



▲起小学校ジャブジャブ池



▲津屋川水系清水池



▲海津市清水池でのハリヨ調査
(追い込み調査)の実演の様子



▲グループディスカッションで議論した内容を発表しました

グループディスカッションでの意見

- ・小学校にあるピオトープの改修に高校生が関わっていることが素晴らしいと思う
- ・地域の方と連携する際に地元で主体となっていただけの方を探す際の参考にしたい
- ・皆さんが工夫されて実施されていることを参考にして今後につなげていきたい
- ・高校での活動で得られた知見を今後も生かしていきたいので情報を提供してほしい



開催後のアンケートでは、多くの参加者から「また参加したい」と回答をいただきました。また、「指標種の生息地巡りをしたい」、「防災対策と環境保全創出が同時に推進できる方策を見つけない」、「ディスカッションが面白かったので、もっと時間が取れたらよかった」等の意見がありました。

いただいた意見は、来年度のエコネットカフェや今後の活動に活かしていきます。

〔愛知県名古屋市〕

2023年1月29日(日)

なごや環境大学後期講座 「劇団シンデレラと藤前干潟をきれいにしよう！」

伊勢湾最奥部の庄内川、新川、日光川の3河川が合流する河口部にある藤前干潟にて「劇団シンデレラと藤前干潟をきれいにしよう！」が開催されました。当日は、劇団シンデレラ主催でミュージカルの公演、干潟のゴミ拾い、渡り鳥の観察が行われました。

ミュージカル「天使が藤前干潟にやって来た！」の公演では、子どもたちが干潟で見られる渡り鳥の「ハマシギ」や甲殻類の「アナジャコ」などに扮して歌や踊りを披露しました。(公演の前説で、エコネット応援団の紹介をさせていただきました)

ミュージカルが終わった後に、NPO法人藤前干潟を守る会のメンバーより藤前干潟の説明があり、干潟のゴミ拾いを行いました。木曾川のワンドでも見かけたことのある、畑の肥料に使われているマイクロプラスチックの残骸が大量に落ちていて、木曾川で起きているゴミ問題が、木曾川以外の河川でも同様に起きていることがわかりました。



▲ゴミ拾いの後は、藤前干潟にて冬鳥観察を行いました。

また、渡り鳥の観察では、双眼鏡を使ってミサゴやヒドリガモなどの冬鳥を観察しました。

ミュージカルや干潟の渡り鳥の観察を楽しみながら、川や海のゴミ問題の現状を知ることができる貴重な体験でした。



▲藤前干潟にもマイクロプラスチックの残骸が大量にありました。

「あいち生物多様性企業認証制度」の認証企業に 尾西信用金庫(一宮市)様と 三井住友信託銀行一宮支店様が 選ばれました。

尾西信用金庫さまと
三井住友信託銀行
一宮支店さまより
ご寄稿いただきました!

あいち生物多様性認証企業制度で認証企業に選ばれた、三井住友信託銀行一宮支店様と尾西信用金庫様より、日頃の取り組みなどをご紹介いただきました!

三井住友信託銀行一宮支店 様より

三井住友信託銀行一宮支店では、以前より次世代を担う子供たちへの環境教育を目的にESDプロジェクトに取り組み、平成28年(2016年)6月には絶滅危惧種である「イタセンパラ」を題材に映像教材を作成しています。(同教材を活用し木曾川高校での出張講座も実施) 同年8月には「イタセンパラ」の展示を開始。昨年も展示・飼育活動にチャレンジし、既に7年以上に渡り普及啓発を続けております。この間、木曾川三川流域エコネット応援団様にもご支援をいただいております。

あいち生物多様性企業認証制度への申請準備を進める中で、改めて私たちが現在抱える「自然資本」や「生物多様性」について理解を深める機会となりました。

今後、様々な企業や団体様と共同して、一層の活動推進を目指して参ります。

「あいち生物多様性企業認証制度」とは?

企業の生物多様性保全に関する取組を促進し、優良な取組が愛知県内に広がることを目的として、優れた取組を実践している企業を認証する制度です。

尾西信用金庫 様より

尾西信用金庫では、平成29年(2017年)からイタセンパラを飼育・展示し、現在6年目となります。飼育・展示に至るまでに、木曾川左岸のワンドに入り魚類調査を体験、専門家の助言を得てから飼育・展示となりました。以前から当金庫では、生物多様性の保全に注力した活動を実施しておりました。

竹害となる竹を原材料とした紙幣袋の作成や、外来種である「オオキンケイギク」の駆除、イタセンパラの生息域である木曾川での清掃活動等に積極的に参加しております。

この地道な活動が認められ、令和4年(2022年)11月14日に「あいち生物多様性企業認証制度」で、認証企業に選ばれました。

今後も生物多様性の保全活動を継続するとともに、地域の方々にもこの活動が広まるよう努力していきたいと思っております。



▲オオキンケイギク駆除の様子

2022年12月

AITサイエンス大賞で 愛知県立一宮高等学校が優秀賞を受賞しました!

「第21回AITサイエンス大賞」の「社会科学・地域づくり部門」にて、愛知県立一宮高等学校生物部のイタセンパラ広報班、アクアポニックス班が、それぞれ優秀賞を受賞しました。イタセンパラ広報班はジャブジャブ池に関する活動のまとめについて、アクアポニックス班は一宮市立起小学校での出前授業と装置の効果検証が評価されました。

一宮高等学校のみなさん
おめでとうございます!

「AITサイエンス大賞」とは?

愛知工業大学主催で、科学への興味と関心を喚起するとともに、科学技術立国を支える次世代の人材育成に寄与することを目的とし、高校生を対象に「自然科学部門」「ものづくり部門」「社会科学・地域づくり部門」に分けて幅広い分野で公募し、日頃取り組んでいる研究の成果を顕彰するものです。

2023年3月

全国エコ活コンクールに 劇団シンデレラ様が入賞しました!

劇団シンデレラのみなさん
おめでとうございます!

劇団シンデレラさん作成の壁新聞「イタセンパラの住む木曾川を大切に」が、こどもエコクラブの「全国エコ活コンクール」にて、壁新聞部門「こくみん共済coop賞」を受賞しました。今年は、全国から131枚の壁新聞と、381枚の絵日記の応募があったとのことでした。

「全国エコ活コンクール」ってなあに?

(公財)日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)が、地域の中で自主的に活動し、日本の環境を守るSDGsの取り組みを行っている子どもたちを対象に日頃のエコ活動をまとめた壁新聞、絵日記を募集し、新しい気づきを得るきっかけや、環境活動の輪を広げていくことなどを目的に行っています。

掲載用情報を募集しています!

事務局では、このニュースレターやfacebook ページで、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省木曾川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曾三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曾三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曾三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojoyo/econet/index.html>>

木曾三川流域エコネット応援団 事務局: 国土交通省 木曾川上流河川事務所 流域治水課 (岐阜県岐阜市忠節町5-1)

【問い合わせ先】木曾川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisojoyo-chosa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125



Facebookにて
情報を発信中!

<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>

ぜひご覧ください!

